

Title	祝卒業・新入生歓迎号
Author(s)	聖学院大学総合図書館
Citation	ぱびるす 54 号(2012 年春), 2012, 4p
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=3654
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

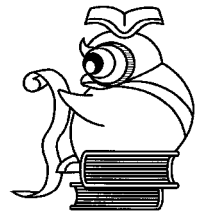
SEigakuin Repository and academic archiVE

ぱびるす

聖学院大学総合図書館報

第54号 (2012年春)

祝卒業・
新生歓迎号



図書館の森

—フランス国立図書館新館—

和田 光司

1996年、パリのセーヌ河畔にフランス国立図書館の新館が開館した。これはフランス革命200周年を巡る大プロジェクトの一環で、高名な建築家ドミニク・ペローの設計によるものであった。そのコンセプトは、図書館の中に森がある、というもので、実際にガラス張りの建物が森を取り囲んでおり、今では鳥も巣を作っている。森に入ることにはできないが、周囲の回廊からそれを眺め、読書の合間に安らぎを得ることはできる。建物の全体はちょうどピラミッドの真中を水平に切り取り、その内部を四角に空けて森を作り、四隅にそれぞれ塔をつけたという感じである。塔の形は開いた本をイメージしている。建物の外部は板張りで、ピラミッドのような階段部分や上部などどこでも腰を下ろして休むことができるし、外から中の森を見下ろすこともできる。

最初に訪れた時には、正直なところ、その大胆な構想に度肝を抜かれてしまった。この図書館の空間は極めて演劇的であって、森の他にも、例えば入口から閲覧のセクションに下っていくエスカレーターも長大なものであり、薄暗いコンクリート打ち放しの空間の中で、何か奈落の底に落ちていくような気にさえさせる。このような空間の演劇性は、この図書館だけでなく、パリの街全体にもいえることだろう。この街は絶えず新しい建設のプロジェクトを抱えているが、これまでのルーブルのピラミッドにせよ、新凱旋門にせよ、これまで人類が経験したことのない、何か新しい劇的な空間を創造し、それを世界に発信し、世界を率先していくこと、それがこの街の使命になっているように思える。少なくともパリの人々がそのような情熱によって突き動かされていることは間違いない。

ところで、この図書館の空間は恐ろしく劇的だが、その一方で利用者の使い勝手はほとんど考慮されていないのである。閲覧室はガラス張りなので、部屋全体が直射日光に照らされ、夏には日射病と戦いながら仕事をすることになる。心配なのは本の管理で、16世紀などの貴重な古書も直射日光に晒されて読まれている。また、すべての部屋が同じ平面上に収められているので、入口から自分の席までかなり歩かなければならず、参考図書室や貴重書室などの関連するセクションの配置も有機的とは言い難く、洗面所や休憩所など設備も離れているので、とにかく一日中歩き回っている、というのがこの印象である。コピーの行列など、不満を挙げればきりがない。そのようにあくまでも見た目重視、話題性重視の建物であり、利用者への配慮は二の次、三の次であって、それもまたこの国らしいと思える。とはいっても、一日の仕事が終わって館外へ出、デッキの階段に腰を下ろしてセーヌ川を眺めつつ深く息をする時、何か生きている充実感に満たされるのも、やはりこの図書館なのである。

(欧米文化学科 教授)

和田先生のおすすめ本

宮下志朗『本の都市リヨン』

晶文社 1989年



図書館 2階
023.35|Mi83

この本はルネサンス期のリヨンの出版業や文芸活動を描いたものです。ゲーテンベルクの印刷術やそれを取り巻く人々が、当時の社会や文化のなかでどのような状況にあったのか、目に見えるように示してくれる本です。

私の図書館の思い出

109P109 山崎 理恵

図書館の職員の方から、「よく見かけるね」ということで執筆の声が掛かりました。私は読書家でもなく、パソコンにかじり付いていたのでもありません。図書館の思い出と言っても、特別何か一つに熱中していた記憶はありませんが、よくそこに居たことは確かです。私にとって図書館は、自分の部屋のように落ち着け、コンビニのように便利で発見のある場で、何よりも居心地の良い空間でした。

私は、講師の方の話は面白いので、なるべく多くの講義を取っています。しかし、昼間に空き時間が発生するため、有効活用したいと考えました。勉強は、放課後のアルバイト後や翌朝に、家で制限時間を気にしてでは集中できるものになりません。そこで、あえてパソコン席も空きがある1時限目の時間に大学に来て、図書館に立ち寄ります。図書館に居れば、教室まで数分で行けるので、講義に遅れる心配もありません。時間を気にせず、課題のための充実した時間が持てます。図書館に半ば強制的であるかもしれませんが居ることで、学ぶ姿勢が身についたように感じます。

また、図書館を自分の「本棚」として活用できるのも魅力です。脳は古い情報を捨て、新しい情報を入れると聞いたことがあります。いつか読もうと思って本を買うよりも、気になった本もちょっと読んで返し、多くの本が読めるのも魅力です。2階の雑誌の前を通ってみると、普段は手に取ることのない雑誌に興味を湧くこともあります。図書館は新しい情報源とともに、新しい自分の発見の場にもなります。

これを書くきっかけは、図書館の職員の方でしたが、定期的に通うことで生まれた人間関係も私を明るくさせてくれました。

最初は講義前の時間つぶしのように立ち寄っていた図書館でしたが、次第に面白さを感じてきました。大学生活で、自分の部屋のように過ごすようになり、世界も広がり、成長できたと思います。

(政治経済学科 4年)

隣の人は何を読んでるの?

— 学生による店頭選書 —



2010年度に引き続き2011年度も学生による店頭選書を実施しました。店頭選書とは図書館で利用したい本を書店で選ぶこと。このイベントに今年度は4人の学生が参加しました。会場となった大宮ジュンク堂に集まった学生たちに渡されたのはバーコードリーダー。これを片手に自由に店内を歩き、気になった資料をチェックしていきます。資料の選び方は人それぞれ。次々にチェックしていく学生もいれば、じっくりと内容に目を通し厳選する学生もいました。

後日、選んだ資料を実際に読んでから図書館に集まり、お互いに資料を紹介し合いました。紹介された資料は絵本、詩集、伝記に学習参考書と多種多様。コメントの書かれたカラフルなPOPと共に図書館1階に展示されました。



紹介された本とコメントは図書館ホームページでも見られます。学生選書は2012年度も実施予定!ぜひご参加ください。

寄贈資料

小野巧生先生、仲村優一先生、益本仁雄氏、聖学院大学後援会等から寄贈をいただきました。順次、整理を進めています。

大学図書館って どんなところ??

～3階編～

3階には社会・教育、自然科学、産業、芸術、言語、文学関係の資料の他に、視聴覚コーナーと3Fカウンターがあります。

コーナー① “視聴覚コーナー”



図書館には本しかないと思っていませんか？実は視聴覚コーナーには語学学習用のCD、DVDといった視聴覚資料があります。もちろん映画やドラマも！

今年度レイアウトや機器類の交換をおこなった視聴覚ブースには、個人用と友達と一緒に楽しめる2人用のブースがあります。大画面の32インチテレビやリクライニングチェアが完備されたブースもあり、目的に合わせて選択できます。授業の空き時間にヒアリングの学習、リフレッシュのための映画鑑賞などいかがでしょうか。



また、視聴覚コーナーにはYouTubeなど、動画閲覧専用のPCも用意しています。一般のPCはレポート作成をする人に譲って、動画はこちらでゆっくりご覧ください。

コーナー② “3Fカウンター”



視聴覚ブースの利用受付や利用補助、ノートPCの館内貸出などをライブラリー・アシスタントの学生が行っています。PCは、館内のどこからでもインターネットに接続可能です。

利用の際は学生証の提示が必要です。データ保存のためのUSBメモリと学生証は忘れずにお持ちください。

3Fカウンター受付時間

平日（開講期間中） 9:00～18:25

（上記以外の時間は1Fにて対応します）

2011年度の図書館の主な動き

東日本大震災による閉館・節電・対策

震災を受け、閉館や部分的な開館を実施した。さらに節電対策として夜間フロアの利用制限、8月の一斉休館（1週間）などが行なわれた。また震災時の書籍落下を受けて、一部書架に簡易だが防災対策を行なった。避難誘導マニュアルも作成した。

公式 Twitter 始動

震災後、複数の情報提供方法を確保するため Twitter のアカウント「view_kun」を公式化。



D.B.のバージョンアップと新規導入

「Japan Knowledge」に『国史大辞典』『日本地名歴史大系』が加わった。また「D1-LAW（現行法規）」を新たに導入。これにより『現行法規総覧』の購読を中止した。

館内の設備充実

3階視聴覚コーナーのレイアウトを変更。機器類の交換や鑑賞用のイスの導入、デスクトップPCの追加を行った。また新書・文庫コーナーに新たに著者名の見出しを設置した。

リフレッシュ点検の実施

書架狭隘化および蔵書活性化を目指し、教員による書架の見直しが行われた。

館内の安全性を強化

館内に防犯カメラが増設され、警備員による館内巡回を開始した。

高校生の職業体験を受入

県内の高校生4名が職業体験を行った。

第2回学生店頭選書実施

昨年度に続き学生による店頭選書およびPOP展示を実施し、4名の学生が参加した。

学外での展示会に教員とコラボで出展

永井理恵子先生の研究成果を元に「図書館と県民のつどい埼玉2011」の展示部門に参加。関連資料やぬいぐるみなどを紹介した。

「SERVE」順調に活動

聖学院学術情報発信システム「SERVE」の登録コンテンツ数が1500件を突破した。また学外のワークショップ等で4回の事例報告を行った。

2011年図書館の統計

(2012年1月31日現在)

I 図書館の推移

	学生数 人	蔵書数 冊	年間受入冊数 冊	開館日数 日	貸出冊数 千冊	図書費 千円
2011	2,677	293,148	4,930	275	16	19,243
2010	2,768	288,629	5,116	288	16	19,223
2009	2,724	283,610	5,042	281	16.9	19,024
2008	2,827	277,506	6,570	280	17.6	30,583
2007	2,875	273,877	8,148	276	17.9	32,267
2006	2,969	264,673	7,869	236	19.5	32,345
2005	2,968	254,921	6,878	232	18.4	29,700
2004	2,938	247,250	8,287	275	17.5	30,400
2003	2,929	242,368	6,220	275	17.6	30,344
2000	2,549	219,368	6,769	274	18	35,805
1995	2,137	163,506	13,438	271	21.5	39,700
1990	1,769	96,752	8,195	280	11.8	22,650
1985	1,005	51,000	5,043	284	10.1	12,399
1980	877	36,000	2,599	236	6.8	7,588
1975	763	22,000	4,265	183	3.5	3,754
1968	256	10,000	2,838	[247]	[1.4]	[1380]
1967	125	7,000		[247]	[1.4]	[1380]

規程の変更に伴い、1999年以降は消耗品図書も含めた冊数とした。

II 蔵書冊数

	和書	洋書	合計
総記	11,009	1,434	12,443
哲学・宗教	21,205	16,113	37,318
歴史・地理	18,657	3,323	21,980
社会科学(含教育学・福祉)	79,728	18,411	98,139
自然科学(含医学)	12,788	1,290	14,078
工学(含家事)	7,274	487	7,761
産業	5,387	470	5,857
芸術(含楽譜)	10,145	916	11,061
語学	11,097	2,934	14,031
文学	41,532	14,240	55,772
その他	9,564	5,144	14,708
合計	228,386	64,762	293,148

III その他の蔵書資料数

和雑誌(紀要・寄贈含)	431	カセットテープ	1,077
洋雑誌(寄贈含)	119	ビデオ・LD・DVD	2,951
スライド	34	CD	1,164
マイクロ資料	17,148	CD-ROM	667

IV 館外貸出冊数(図書・製本雑誌):分類別

(2011年4月1日～2012年1月31日)

学生・院生・履修生のみ

	和書	洋書	合計
総記	456	2	458
哲学・宗教	1,933	31	1,964
歴史・地理	1,254	0	1,254
社会科学(含教育学・福祉)	5,632	29	5,661
自然科学(含医学)	640	1	641
工学(含家事)	404	0	404
産業	293	0	293
芸術(含楽譜)	803	2	805
語学	1,443	31	1,474
文学	2,376	7	2,383
その他	659	1	660
合計	15,893	104	15,997

V その他(他館との協力等)

(2011年4月1日～2012年1月31日)

資料借用	159 (内、学生・院生 26)	紹介状発行	7 (内、学生 0)
資料貸出	31	紹介状受付	3
複写依頼	454 (内、学生・院生171)	視聴覚コーナー利用	1,789
複写受付	334	館内ノートPC貸出	6,139
		文献検索	44

VI 館外貸出冊数:学科・学年別

(2011年4月1日～2012年1月31日)

所属・学年	図書(製本含む)	未製本雑誌	CD
政治政策	2年 3	0	0
	1年 422	28	1
アメリカ・ヨーロッパ文化	2年 19	0	0
	1年 247	28	0
	後2年 4	0	0
	後1年 265	8	4
人間福祉	1年 261	25	0
	後3年 6	0	0
科目等	39	0	0
大学院生小計	1,266	89	5
政治経済	4年 335	1	4
	3年 679	3	7
	2年 439	0	2
	1年 430	5	12
コミュニティ政策	4年 189	0	2
	3年 390	5	0
	2年 259	0	0
	1年 389	9	6
欧米文化	4年 640	10	16
	3年 1,054	3	23
	2年 875	6	53
	1年 415	4	4
日本文化	4年 867	12	7
	3年 1,424	8	9
	2年 1,373	19	17
	1年 681	1	2
児童	4年 673	37	2
	3年 961	18	7
	2年 556	11	4
	1年 440	0	4
人間福祉	4年 490	27	0
	3年 447	82	0
	2年 331	6	2
	1年 286	1	3
科目等	108	0	0
学部生小計	14,731	268	186
院生・学生合計	15,997	357	191

発行・編集 聖学院大学総合図書館
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
電話 048-725-5461 FAX 048-780-1096
E-mail lib@seigakuin-univ.ac.jp
URL http://seiglib.seigakuin-univ.ac.jp/